

お手製エプロン役立てて

第一生命保険 介護現場に寄贈



中央区

第一生命保険札幌
総合支社(北3西

1)は、ビニール袋を利用して手作りした使い捨て簡易エプロン1万枚とマスク6千枚を、日本認知症グループホーム協会北海道支部と北海道認知症グループホーム協会に贈りました。

コロナ禍の中、支援が遅れがちな介護現場で役立ててもらおうと、札幌総合支社と市内・近郊に23あるオフィスの職員合わせて約800人が、1日でも早く届けたいと簡易エプロンを5

日間で制作しました。

寄贈式は6月18日に札幌総合支社で行われ、マスクと簡易エプロンを受け取った両団体は連名で感謝状を贈りました。

吉川浩一・札幌総合支社長は、「北海道の高齢者を守る活動が続けていただきたい」とあいさつ。日本認知症グループホーム協会北海道支部の村上睦支部長は「より良い介護現場をつくる」といこうと思います」などと感謝の言葉を述べ、記念撮影をしました。写真

。マスクと簡易エプロンは、市内を中心とした認知

☆歩道彩るマリーゴールド

【白石区】東川下町内会(繁泉将晴会長)は6月7日、花と緑のまちづくりの一環として、歩道の植樹まですや植樹帯に花苗を植えました。地域の人や子どもたちが花に触れ合う機会をつくろうと毎年行っています。

今年には住民約30人が参加し、北郷通、厚別通などの歩道に造った花壇にマリーゴールド700株を植えました。東川下小前にある歩道の花壇には約160株を植えました。写真。



町内会役員の村上冨子さんは「歩道に咲く色鮮やかな花を楽しんでほしい」と話していました。(リポーター・細矢信晴)

☆市内4カ所でひきこもり出張相談

市ひきこもり地域支援センター(白石区平和通17北)は7月、市内4カ所で、ひきこもりに関する出張無料相談会を開きます。いずれも午後1時半から。各会場の区在住者を優先しますが、区外の人も参加できます。予約が必要で、名前、住所、連絡先、相談内容を各日程の2日前までに地域支援センター☎861・6353、または☎hikikomori@kokoro-recovery.orgへ。

また、センターでは平日、電話相談や来所相談(予約制)を行っています。電話相談は☎863・8733へ。メールでの相談は常時受け付けています。詳しくはホームページhttp://www.kokoro-recovery.org/へ。出張相談の会場は次の通り▽8日 西区民センター▽11日 厚別区民センター▽26日 清田区民センター▽29日 北区民センター